

かいせつ (解説)

洗たく板 … 「服を洗う」ときに使う道具

洗たく板は、服を洗うときなどに使う道具です。水を入れた桶の中で、板のギザギザ部分に服を押し付けながらこすることで、汚れを落とします。洗たく板はおよそ100年前から使われるようになりましたが、1960年代に洗たく機が売られるようになると、使われなくなりました。しかし、最近では、お金がかからず、手軽に使えることから、見直されています。

板のギザギザで汚れを落とす



水を入れた桶の中で使う

くけ台 … 「服をぬう」ときに使う道具

くけ台は、服をぬうときなどに使う道具です。縦棒の先には針刺しとクリップが付いており、クリップに布をはさんで引っ張ることで、布のシワが伸び、ぬいやすくなります。横棒の上には正座して座り、体重をかけることでくけ台が動かないように押さえました。さらに、このくけ台は使い終わると、コンパクトに折りたたむこともできます。

クリップに布をはさんで引っ張り、シワを伸ばす



横棒の上で座り、くけ台が動かないよう押さえる



階段たんす … 「服をしまう」ときに使う道具

階段たんすは、服をしまうときなどに使う道具です。見たとおり「階段」の形をした「たんす」であり、階段としても使うことができるように、丈夫に作られています。階段の下を収納スペースとして有効活用できる、昔の便利グッズです。



いろいろな大きさの引き出しがついている